

電気は足りている!

川内原発再稼働NO

原発ゼロへ 声をあげよう



全国から東京にあつまろう



川内原発の再稼働を許さず、安倍暴走政治をストップさせるために、全国から集まろう!!

川内原発を再稼働させるな!!

さようなら原発
全国大集会 & 行進

会場 / 東京：代々木公園 B 地区・けやき並木
日時 / 9月23日(祝)
メイン集会 13:00-14:30(予定)
終了後デモ行進(予定)

主催・9.23 NO NUKES DAY 実行委員会
(原発をなくす全国連絡会・首都圏原発廃止会・さようなら原発1000万人アクション)

安全なき「審査適合」で危険な川内原発再稼働するな!

原子力規制委は7月16日、九電川内原発1・2号機が新規制基準に「適合している」とする審査書案を了承しました。

安倍首相は「規制委が安全を確認した原発は再稼働させる」と繰り返してきましたが、規制委の田中俊一委員長は「(新規制基準への適合で)安全だとは申し上げない」と述べ、安全の確認ではないことを認めています。国も規制委も安全に責任をもたないまま、再稼働など言語道断です。

9月15日には原発稼働ゼロから1年を迎えます。この夏も原発ゼロで乗り切れることは、電力会社の需給予測からも明らかです。拙速な再稼働など必要ありません。

火山噴火対策、避難計画もなおざり

川内原発は、近くに阿蘇、霧島、桜島などの火山があり、大噴火した場合は火砕流などの影響が懸念されます。にもかかわらず審査書案は、「安全性に影響を及ぼす可能性は十分小さい」¹などと九電の言い分を丸のみにしています。自治体がつけた避難計画に、住民からは実行不可能との声が上がりましたが、鹿児島県の伊藤祐一郎県知事は「10⁵圏が対応できればいい」²という無責任な発言をしています。

地元は85%が再稼働反対

川内原発が立地している鹿児島県薩摩川内市で「さよなら原発いのちの会」が行った市民アンケートに1,133通の回答が寄せられ、川内原発の再稼働に反対が85%にのぼりました。また、「福島第1原発のような事故が川内原発でも起こると思うか」との問いに、「起こる」「起こるかもしれない」と回答した人が合わせて89%にのぼりました。地元の再稼働反対の意思は明確です。

1 九電は噴火の予測は可能としています。火山学者は不可能と明言しています。
2 福島では原発から50³先の飯館村まで放射能で汚染され、未だに避難生活を余儀なくされています。

